

大增税・負担増の痛みをやわらげ 区民の願いを実現する

予算修正案を 提出!

日本共産党



足立区の二〇〇七年度予算案などを審議する定例議
会が開かれています。国の大增税・負担増の政治で
「これでは暮らしていけない」などの声が上がってい
ます。

ところが自民、公明、民主の区政は負担をそのまま
区民に押しつけ、最終修正予算で積立金をさらに増や
し、合計で647億円の基金(貯金)となりました。

日本共産党足立区議団は、自治体の役割を果たし、
区民の願いを実現させるため、子育て支援、高齢者福
祉、区内業者支援などの予算修正案を提出しました。

増税・負担増から区民をまもる

税制改定の影響で、収入は変わらないのに
大幅負担になる高齢者に「痛みやわらげ手当」
を支給します。……………1億5600万円

介護・高齢者福祉を充実

- 介護保険料を値上げ前に戻します。負担軽減
……………22億9254万円
- 介護用のベットのレンタル補助…4500万円
- 高齢者の孤独死対策として、緊急通報システ
ム利用料の無料化 ……………122万円
- 障害者のくらしをまもる
自立支援法施行などでの利用者負担を軽減します。
……………1億890万

区民の自主活動を支援

住区センター施設利用料を無料にします
……………2,419万円

青年・地域産業支援

- アルバイトなど不安定雇用の青年の健康診
断を年1回保障します ……………2227万円
- 青年の居場所づくりのため
音楽練習ができる場所をつくるなど
……………160万円
- 区内中小零細業者の道路占用料を免除します
……………2181万円
- トレーのステーション回収など
……………1億1000万円

子育て支援

- 子ども医療費の助成
中学3年生まで通院費も無料にします。
……………2億6000万円
- 母子健康診査支援
妊婦健診補助を増やし安心して出産できるようにします。
……………1億1020万円
- 保育料の負担軽減
第2子以降の保育料を免除します。
……………1億2847万円
- 少人数学級にふみだします
……………1億5000万円

お金の 使い方をかえれば くらしを応援できます

財源はあります

不要不急な予算を削るとともに、増税・
負担増などでため込んだ647億円(基金)
の6%を区民に還元し、活用します。



発行所
日本共産党足立区議団
足立区中央本町1-17-1
足立区役所内
発行責任者 鈴木けんいち
編集責任者 伊藤和彦

みなさんのご意見をおよせ下さい

区議団 Tel.03-3880-5770 Fax.03-3880-5682
足立区議団メールアドレス acmp@blue.ocn.ne.jp
足立区議団のホームページ http://www.adachi-jcp.jp/



こんな区政でいいのでしょうか

「学力テストで各学校の予算に格差」

足立区教育委員会は昨年10月、学力テストの結果で子どもたちの学校予算に格差をつける方針を打ち出し、最大五百万円から二百万円まで各学校をランク付けする「基準表」を示しました。

このことが全国紙に報道されると、区内はもとより全国から批判が集中し、区教委は、一週間もたたないうちに「基準表」を撤回しました。

しかし、学力テストの結果で予算に差をつける方針そのものを撤回したのかとの質問に、「その理解はまちがっている」と答えるな

ど、基本方針は何ら変えておらず、開き直っています。

教育長は一月二七日発行の経済誌で、「基準表（学校をランク付けする表）をやめて、学力調査の伸び率とか、校長の熱意などを一件づつ査定して予算に差をつける」「当初のランク表と同じくらい差がつくことになる」と答えました。

日本共産党は二月の議会で、こ

うした発言は教育者にあるまじきものだ指摘しながら、あらためて、予算に差をつける方針の撤回を求めました。

子どもは実験台じゃない

「大変な学校に予算を少なくするなんて逆じゃないですか。子どもには何の罪もないのに。差別しないで欲しい（中学生の母親）」

福祉はごみごみで捨て

自民、公明、民主の区政は八年間で、保育料を二回値上げし、二三区で一番低い水準から、一番高い水準にしました。

学童保育料も値上げ、老人クラブ運営費補助、生きがい奨励金は削減。わずか79万で支えられる高齢者緊急通報システムも、195万円で五〇〇人が支えられた障害者の杖先ゴム交換費用もけずり、有料にしました。

また、区民にとって必要で貴重な財産である施設も、存続を求める多くの声を無視してつぎつぎ廃止（上表参照）。破格の安

い値段で売却を進めてきました。

一方で昨年から区民を襲っている増税・負担増に対しては、「必要なものであり、特に負担を緩和することはありません」という態度です。そして増税分の約23億円、介護保険料値上げ分約15億円をそっくり貯金に積み立てる形で、なんと1年間で211億円も基金を増やしたのです。

区民が存続をもとめる貴重な施設を廃止 破格値で売却

	利用者数	
伊豆高原区民保養所	約7000人(年間)	
塩原林間学園	児童の体験学習	約5200人
	区民利用	約2400人
	合計	約7600人(年間)
上総湊健康学園	約4300人の卒園児童(54年間)	
那須区民保養所	約2万人(年間)	

ためこんだお金は647億円

みなさんのご意見をおよせ下さい

日本共産党足立区議団控室
03(3880)5770

区民に冷たい発言

- 増税は「必要不可欠なもの」(自民党、06年6月)
- 「格差は広がっていると「は思わない」(区長、06年10月)

住区センターを有料化

自・公・民区政は、区民が自主的に運営している地域の住区センターを一部有料化しました。

無料の団体と有料の団体をつくり、住民に差別を持ち込むとともに、負担が増えて利用できない団体が生まれま

した。昨年、自民・公明・民主は「無料にもどして」と求める二万人を超える陳情を不採択にし、背を向けました。